

## 第5回 いの町地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日時：平成21年12月24日（木） 10:00～12:00

場所：いの町立伊野公民館 2階大集会室

### 1. 議事次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議題
  - 第1号 住民ニーズ調査の結果について
  - 第2号 公共交通連携計画（素案）について
  - 第3号 パブリックコメントについて
  - 第4号 事後評価について
  - 第5号 今後のスケジュールについて
4. 意見交換
5. その他
6. 閉会

### 2. 出席者

別紙 出欠確認表 参照

### 3. 議題

#### 4. 意見交換

第1号 住民ニーズ調査の結果について

第2号 公共交通連携計画（素案）について

（委員）

・西条市とのバスについて実証実験を行うとなっているが、どの組織で実施するのか。

（事務局）

・施策に関する関係機関との調整や予算配分については、今後行っていくため、若干の変更が出てくることを了承したい。幹線・支線体系への再編や有償ボランティア輸送等の施策と関連してくるため、それらの年次計画との調整を行う必要がある。

（委員）

・西条との連携については3カ年の補助が終了後も実施するのか。

（事務局）

・実証実験で効果を確認して、判断したい。

（委員）

・産業振興計画に力を入れているが、その計画も踏まえているのか。

・遊覧船や山岳観光等の観光振興との連携を考えられているのか。

（事務局）

・観光に関しては、道の駅の拠点整備と関連してくる。また、県外から観光客が航空機やJRで来たときに、連結する公共交通を強化する取組となる。

・山岳観光等については、幹線と支線に対応していく。

（委員）

・西条側の現時点のバスの頻度はどれくらいか。

(事務局)

・現時点では1日に1往復である。施策の実施に伴い、便数については西条側とも調整が必要になる。

(委員)

・国道194号から町外にある交通も考えていく必要がある。  
・有償ボランティアを実施する組織として該当するところはありませんか。

(事務局)

・最初は社会福祉協議会を活用し、その後NPOが引き継いで実施することが考えられる。

(委員)

・実施の方法は考えていかないといけないが、実証実験までぜひとも行ってもらいたい。  
・リタイヤしている人で元気な人に運転手となってもらう必要がある。

(事務局)

・ヒアリングでも多くの意見があったが、近所の人をお願いしにくいし、事故時の保障が課題であるとの意見があったので、有償ボランティアの導入は有効である。  
・登録制度なので手続きが必要になる。進捗状況によるが、来年度実施していきたい。  
・運送法の中で、過疎地有償ボランティアとして実施できる団体が示されており、NPO、広域法人、農協法人、医療福祉法人、商工会などが登録できる。

(委員)

・平成22年度に設立して、実験まで間に合うのか。

(事務局)

・社会福祉協議会ではデイサービスを行っており、その延長上として、活用を考えていけば可能であると考えている。協議、調整はこれからであるため、スケジュールが変わる可能性がある。

(委員)

・道の駅に停留所はあるのか。

(事務局)

・近くにあるが、乗り入れはしていない。乗り入れを行い乗り継ぎの利便性を高めたい。

(委員)

・パークアンドライドとなっているが利用者は考えられるのか。

(事務局)

・現在でも道の駅に車を止めてバスに乗るなど、利用している人がいると思うが、道の駅利用ではない目的で利用していることになる。パークアンドライド用の駐車場をきちんと作る必要があると考える。

(委員)

・パークアンドライドでお金をとれば、利用しないのではないかと思う。無料ということも考えていただきたい。

(委員)

・フリー乗降制はよいことだと思う。何か許可がいるのか。

(委員)

・警察の許可が必要になる。どこでも止めることができるわけではなく、安全な駐車場があったり、交通量が少ないなど、追突等の危険性がないようなときに許可される。

(委員)

・バス停の位置で、楠瀬中学校前、足谷、鹿敷などが、追い越しにくいところに設置されているところがあるので、見直しができないか。

(事務局)

・幹線、支線の見直しを行う際に、バス停位置も見直すように協議を行う。

(委員)

・年間パスはうまくいっているのか。

(委員)

・学生のフリーパスを実施している。学生の利用が減ってきていたので導入した。その結果、増加はしないものの、減少数が少なくなった。

・土電でも高齢者に対するフリーパスを採用しており、収入は厳しいが、利用者は増えている。

(委員)

・商業施設との連携は大型店のみではなく、商店街等の小売店も対象にして欲しい。

(委員)

・高知市内の商店街でお買い物乗車券の導入している事例がある。

(委員)

・サポーター制度として、住民が主体的に取り組むことは大事だと思う。組織を作って機能させるには難しいのではないかな。

(事務局)

・支線の運行については、地域の人と協議を行いながら考えていくため、その人たちに協力をしてもらえるのではないかなと思う。

(委員)

・後免奈半利はNPOが年会費2000円で取り組んでおり、会員数を増やしている実績がある。

(委員)

・公共交通利用の意識付けを町の広報誌等で行って欲しい。

(委員)

・ホームページ等も利用していただきたい。

(委員)

・サポーター制度の目標値は100人となっているが少ないのではないかな。

(委員)

・買い取り制度についても、買い取ってくれるのであればその人もサポーターになる。高知西南では2000人程度がサポーターになっている。

### 第3号 パブリックコメントについて

#### 第4号 事後評価について

(委員)

・提案のとおり実施して欲しい。

(事務局)

・ご意見があれば、事務局のほうへ連絡をいただきたい。

### 第5号 今後のスケジュールについて

(事務局)

・次回はパブリックコメントの意見を受けた修正版を提示する。2月の第3週を目途に協議会を行う。

以上